



新型インフルエンザの感染拡大に備える！

対応実働訓練を実施

豊中市は、5年ぶりとなる高病原性新型インフルエンザ等の対応訓練を、2月22日（土）に実施します。

現在、世界各国で国家安全保障の重要課題として対策が進められている高病原性の鳥インフルエンザは日本各地でも報告されており、ウイルスが変異することで「ヒトからヒトへの感染」が起こる可能性が指摘されています。

訓練では、新型インフルエンザ等の人から人への感染を想定し、世界的大流行（パンデミック）に備えて、保健所全職員が対応力を強化します。

高病原性新型インフルエンザ等対応実働訓練の概要

日時：2月22日（土）14時から16時30分

場所：豊中市保健所（中桜塚4丁目11番1号）

訓練想定：国内で新型インフルエンザ患者が発生し、
豊中市でも相談センターにて患者（疑）を把握。

訓練内容：患者動向把握、医療機関調整、防護服着脱
民間救急車やアイソレーターを使用した患者移送
検体回収・搬送、疫学調査、接触者対応 など



【報道機関からの問い合わせ先】

健康医療部 健康危機対策課 感染症対策係

担当：大坪 TEL:06-6152-7316

E-mail: kansen@city.toyonaka.osaka.jp